

第181回「河川文化を語る会」のご案内

講演 「描かれた淀川 —イメージと実像のはざままで—」

おおさわ けんいち
講師 大澤 研一 氏
(大阪歴史博物館学芸員)

淀川は、日本でも稀な多くの絵画作品が残された川です。なぜ、淀川はよく描かれたのでしょうか。また、淀川はどのように描かれたのでしょうか。絵画というものはいうまでもなく写真とは違い、描いた人や注文主の主観や要望が反映されます。時には大胆に省略されてエッセンスが強調されたり、時には現実に忠実な場合もありますし、さらにはこうあってほしいという姿に描かれることもあります。では、厳然とわれわれの前に存在し続ける淀川はどう描かれたのでしょうか。それはさまざまな人びとの視線が淀川に注がれるなかで形づくられた、淀川の文化的景観ともいえるものではないでしょうか。今回は人びとの目を通して見られ、記憶にとどめられた淀川の姿を多角的にさぐります。

【講師略歴】

1962年岩手県生まれ。大阪市立大学文学部国史専攻卒業。大阪歴史博物館 企画広報課長・学芸員。専門は日本史(特に戦国期～近世初期の都市史・宗教史)、大阪地域史。担当した主要展覧会は、『大阪の町と本願寺』1996年、『韓国の名宝』2002年、『東アジア中世海道』2005年、『風林火山』2007年、『水都大阪と淀川』2010年。著作論文等に、「都市平野の誕生—中世から近世の平野の歩み—」「中世はどう変わったか」(小野正敏・五味文彦・萩原三雄編)高志書院2010年、「上町台地の中世都市から大坂城下町へ」『中世都市研究 中世都市から城下町へ』山川出版社2013年 他多数。

- 開催日時 平成25年11月14日(木) 18:30～20:30
- 開催場所 エル・おおさか(大阪府立労働センター) 7F「709会議室」
(大阪市中央区北浜東3-14 TEL:06-6942-0001)
- 交通 地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から西へ300m
- 参加費 無料
- 申し込み/問い合わせ 氏名・(勤務先)・TEL・(FAX)・二種正会員(個人会員)/一般の別を明記の上、FAX/郵送/E-mailのいずれかでお申し込みください。(参加票の送付等はありません。直接会場へおいでください)
 - 日本河川協会「河川文化を語る会」事務局 担当:高木, 佐藤
TEL:03-3238-9771 FAX:03-3288-2426 E-mail:kataru@japanriver.or.jp
〒102-0083 東京都千代田区麴町2-6-5 麴町E.C.Kビル3F
 - または ●大阪府都市整備部河川室 担当:美馬, 森本
TEL:06-6944-9296 FAX:06-6949-3129
- 申込締切 定員(100名)になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

主催  公益社団法人 日本河川協会 共催 ^{かわ}大阪の河川を愛する会 後援 大阪府
当講演会は、「土木学会CPDプログラム」として認定されています。 

(切り取らずにこのままFAXしてください)

日本河川協会 行 FAX:03-3288-2426
大阪府都市整備部河川室 行 FAX:06-6949-3129

第181回「河川文化を語る会」参加申込書

ふりがな
氏名 二種正会員(個人会員)・一般・学生(いずれかを○で囲んでください)

勤務先(記入は任意)

※職種(いずれかに○) コンサルタント・建設会社・その他民間企業・行政・財団/社団・NGO/NPO等・その他

TEL () FAX ()

(※ ご連絡いただきました個人情報は、厳重に管理した上で、講演会等当協会からのご案内に利用させていただきます。)

当講演会は、公益財団法人河川財団の河川整備基金の助成を受けています。